

## 山口県介護支援専門員協会 第3回常任理事会 概要

開催日 平成27年10月7日(水) 午後3時から午後5時まで  
会場 山口県セミナーパーク リハビリテーション実習室  
参加者 佐々木会長、橘副会長、堀田理事(広報事業部)  
二井理事(調査研究部)、岩神理事(生涯研修部)  
事務局 山口県社協 福祉研修センター  
主幹 熊谷聖、囑託 福本かおる

### 1 報告事項

#### (1) 日本協会の動向について

支部長会議の意見交換における事前意見として、県の意見を集約し意見提言を行ったが、今回のアンケートについての回答はなかった。今までに意見提言した内容について、回答があったので理事会でお伝えする。

地域医療総合確保基金の申請について、研修で申請する。研究職を強めていく場合、勇美財団の助成金の申請も検討する。

国家資格化について、今後有識者会議を立ち上げ、委員会を作るかの議論を行う。有識者のメンバーとして相談役として濱田氏、徳島県の武久先生、ケアマネジメント学会の白澤先生で構成される。社会福祉士は児童福祉士の国家資格化を進めており、虐待、不登校等の要因で、子供たちを救うニーズがあるため、国家資格化の動きがある。ケアマネジメントは粗方普及しており、資格を作ることが社会の要望になっているかは時期尚早であるが、社会的地位の確保のためには必要となってくる。

法定研修について日本協会発行のテキストを使用して欲しい。実務研修のテキストは今までどおり長寿社会開発センターが作成。

### 2 協議事項

#### (1) 各部会の活動報告

##### ○広報事業部

HP掲載内容とスマートフォンアプリについて精査する。

10月24日の交流会について理事会で声掛けをする。

##### ○公益事業部

「県協会からのお願いアンケート」について、研修毎に取りまとめているが、アンケート結果の精査方法、周知の仕方について確認したい。

内容の精査を公益事業部で行い、分類ごとにある程度振り分け、各部へ回答を依頼して良いか。その後HPにアップする流れで良いか。

回答→協会の活動に反映できる箇所をまず公益事業部で整理してもらう。

○生涯研修部

地域医療介護総合確保基金について、次年度の研修で何件か提案する。

(2) 山口県ケアマネジメント研究大会について

ケアマネジメント研究大会プログラムの変更について、主催者挨拶を白澤先生へもお願いしている。永年表彰について各地域を代表して1名ずつ壇上に上がってもらう。研究発表についてテーマごとに発表地域を分類している。お楽しみ大抽選会の景品について、展示業者からの提供は難しいが、東洋羽毛より当日ジュースサーバーの設置、ハツタ山口より参加者全員に粗品の提供をいただく。当日開会式までの間、企業紹介の映像をスクリーンに流す。

(3) 永年表彰者の承認について

今年度の表彰者は12名。壇上に上がっていただく方へ連絡する。

(4) 法人化に向けた活動について

法人化に向けての具体的動きとして、登記等諸手続きを司法書士法人みらいの山本先生へお願いする。登記に必要な内容について様式を提示いただいた。登記にかかる費用として19万8千円。法人化後の体制について、組織総務に公益を統括する。理事は各地域会員数100名に対し1名の選出となり、少し人数を整理する。県医師会より外部理事をお願いする等も検討する。

事務局体制について実務研修が受託できたとして、2名体制と事務の煩雑な部分についてパート職員を雇用する。事務局は社会福社会館内に設置する。今後のタイムスケジュールについて資料のとおり進めていく。定款について任意団体から一般社団に移行した三重県の定款を参考にさせてもらう。

法人登記の時期について、県より研修の認可を受ける際に、法人が必要となるため、年度内に法人化を行う可能性がある。理事の体制について現行でいくか、新体制になるかは検討していく。

次回理事会で、現行の会員数に対し、次年度の理事数を提示する。会長推薦枠についても検討する。